

邸園文化・造園遺産の残る大磯町を見に行こう！！

★造園 CPD プログラムに認定されました★

明治時代の政治家や文豪等が数多く別荘を建て、独自の「邸園文化」（邸宅庭園の文化）を形成した神奈川県湘南地域の中でも数多くの「邸園」が現存する大磯町において、造園遺産をめぐるまちあるきと公開研究会を開催します。

現在、都市公園として再整備中の旧吉田邸のほか、町内に残る邸園文化が色濃く残る地域をガイドボランティアの案内でめぐり、参加者のみなさんとともに、造園遺産の継承における様々な立場の人々の関わりや、これからの学会や支部の役割について考えます。

※町内のまちあるきは、大磯ボランティアガイド協会の協力を得て実施します。

1. 大磯町の邸園文化まちあるき 予定コース

●海岸沿いの別荘地域（松並木の滄浪閣、旧梨本邸等）→●旧吉田邸→●県立城山公園



旧吉田邸庭園（神奈川県大磯町）

※旧吉田邸庭園は、工事中ですが神奈川県の協力により見学の予定です。（庭園内部の見学は行いません）

※まちあるきは、大磯町ガイドボランティア協会の会員にガイドしていただきます。

2. 開催日・集合場所

平成 22 年 11 月 6 日（土） 10:00 大磯町役場前集合（雨天決行）

（JR大磯駅から徒歩約 10 分）

※まちあるきは 12:00 終了予定

3. 参加方法・参加費

平成 22 年 11 月 1 日（月）までに下記へお申し込みください。定員 30 名（先着）

参加費（ガイド料、弁当代込み）は当日徴収

学会員・学生 1000 円、一般（非会員）1500 円

4. 公開研究会

会場：大磯町郷土資料館研修室（県立城山公園内）

時間：13:00～16:30

※公開研究会のみご参加の方は会場へ直接お越しください。（事前申込み不要）次ページ参照

《主催》（社）日本造園学会関東支部

《参加申込み先》東京農業大学造園科学科（栗野）

FAX : 03-5477-2625 E-mail: kanto.jila@gmail.com

※希望者は、氏名、所属、連絡先（携帯電話及びメールアドレス）を上記あてに
お送りください。 当日連絡先（栗野）: 090-6209-1868

※関東支部の取組は、支部ホームページ <http://nodaiweb.university.jp/nkbjila/> をご覧ください。

◆公開研究会プログラム

「ランドスケープ遺産は誰が継承するのか」

～わたしたちの役割を考える 行政・所有者・市民・学会それぞれの立場で～

●日 時：平成22年11月6日（土） 13：00～16：00

●会 場：県立城山公園内大磯町立郷土博物館研修室

●参加費：学会員・学生 無料、一般 500円

※午前中のまちあるきに参加の場合は、事前申込み及び参加費が必要です。

【趣旨説明】 13：00～13：10

- ・池尻あき子（日本造園学会関東支部）

【話題提供】 13：10～14：10

- ・矢野 孝 氏（大磯町都市計画課長）：大磯町における邸園文化保存の取組（仮）

- ・岡田 範正氏（大磯町ガイドボランティア協会事務局長）：

まちあるきガイド活動を通じた邸園文化の継承と課題（仮）

- ・大倉 祥子氏（大磯町観光協会理事）：

オープンガーデン活動等を通じた邸園文化の継承と課題（仮）

- ・阿部 勉 氏（葉山環境文化デザイン集団理事）：

葉山での邸園文化保存の取組と課題（仮）

- ・小田原まちづくり応援団（発表者未定）：清閑邸での取組と課題（仮）

【コメント】 14：10～14：30

- ・白井 充 氏（神奈川県平塚土木事務所）管理者・行政の立場から

- ・屋代 雅允氏（東海大学観光学部教授）地域との協働の立場から

- ・小野 良平氏（東京大学大学院農学生命科学研究科准教授）学会の立場から

【グループ討議・まとめ】 14：30～16：00